

# 「綾の照葉樹林プロジェクト」について

林野庁九州森林管理局

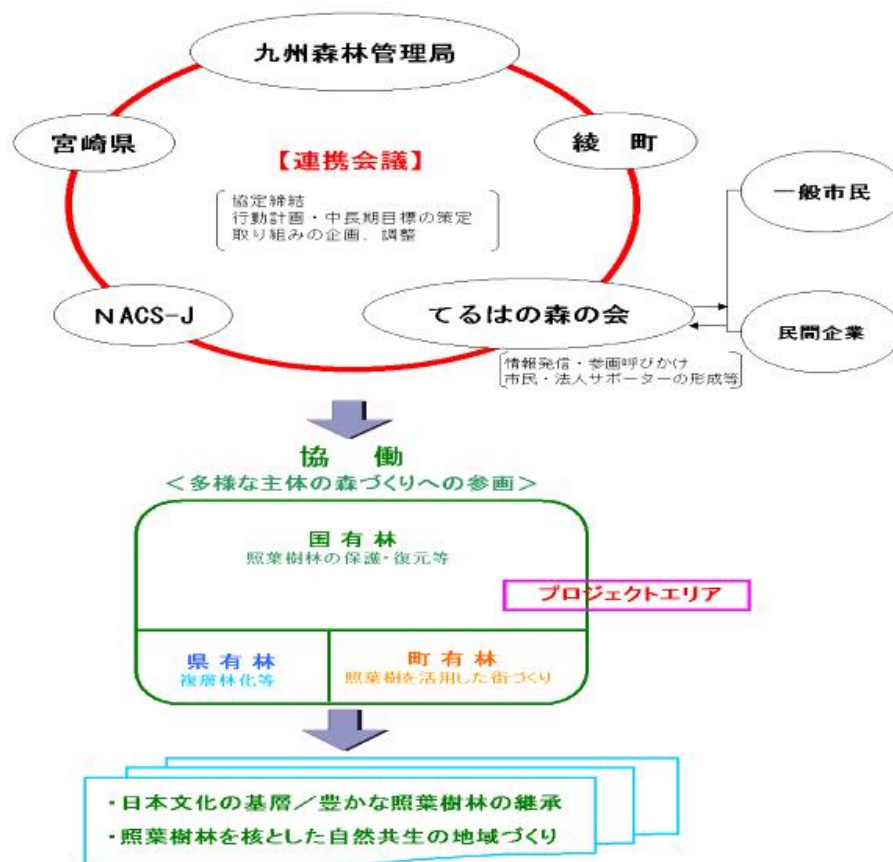
「綾の照葉樹林プロジェクト」は、平成16年から、学術的にも貴重な宮崎県綾川流域に残された日本最大級の原生的な照葉樹林を厳正に保護するとともに、この照葉樹林の周辺に存在する二次林や人工林を照葉樹林に復元するため、「九州森林管理局」、「宮崎県」、「綾町」、「(財)日本自然保護協会」、「てるはの森の会」の5者が協働して計画を策定し、実行している取組です。

(<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/index.html>)

## 【プロジェクトの仕組み】

参画者5者が協定書を締結するとともに、あわせて設置した「連携会議」の下、各参画者が連携・協働して取組を進めています。

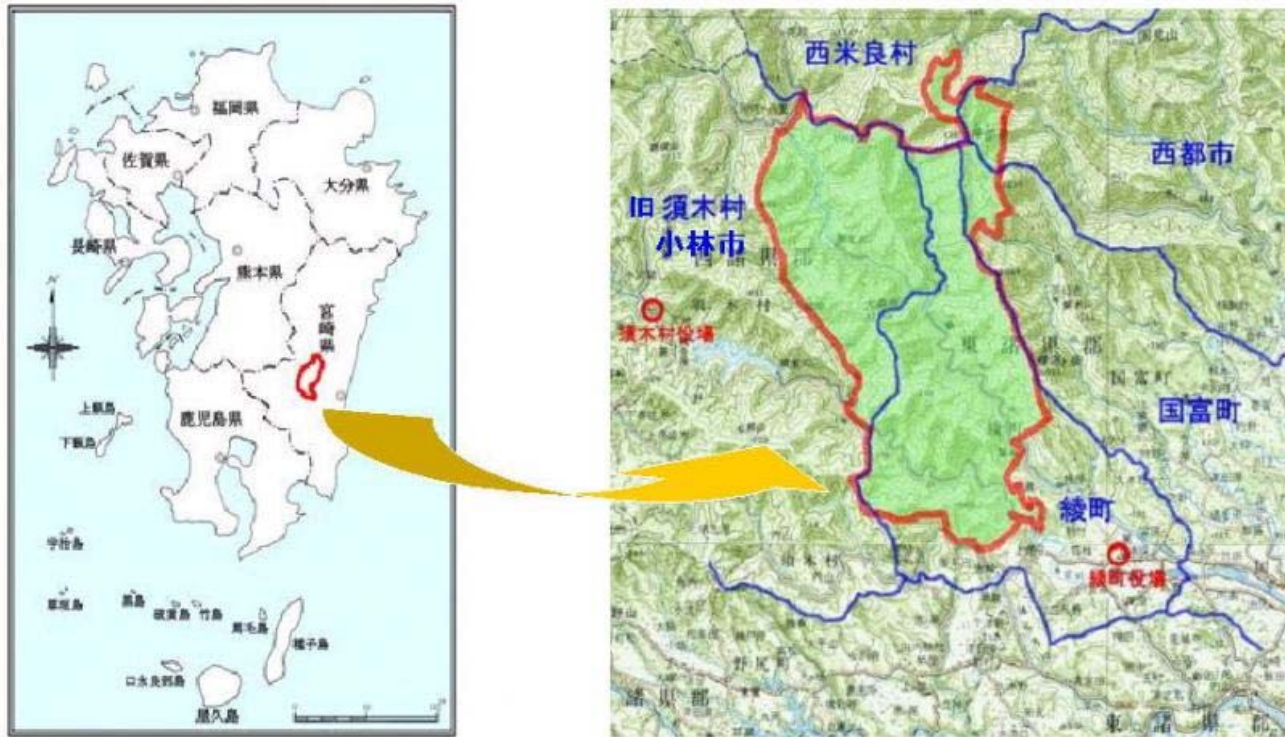
## プロジェクトのイメージ



## 【プロジェクトの対象地域】

プロジェクトの位置は、宮崎県のほぼ中央に位置し、宮崎市から西方約30 km、大淀川の支流・綾北川、綾南川をさかのぼったところにあり、綾町、小林市、国富町、西都市、西米良村にまたがる約1万haの区域です。

(宮崎森林管理署管内国有林 約8,700ha、宮崎県有林・綾町有林 約800ha)



## 【対象地域の取扱い】

対象地域を、①原始的な照葉樹林で保護する区域、②二次林や人工林から照葉樹林に復元を図る区域、③森林環境教育への利用を目指す区域、④持続的な林業経営を行う区域、にゾーニングし適切に管理しています。

## 【人工林から照葉樹林へ復元】

スギやヒノキの人工林の間伐等を行い林内に光りを多く入れることにより、かつての照葉樹林の林相を残す天然林からの種子の供給で照葉樹を自然発生させ、この照葉樹が十分育った頃、残るスギやヒノキを全て除去し、照葉樹林への復元を図ります。

50～100年後には保護林と復元された区域により6,000ha以上の連続した広大な照葉樹林の復元を目指します。